

広報

No.147

古河

12
DECEMBER
2017

一致団結！

地域のチカラ



古河の秋のイベント

第44回 総和地区市民運動会 @総和中学校

爽やかな秋空とはじける笑顔！

11月3日に行われた総和地区市民運動会。約2,500人が参加し、大玉転がしや綱引き、行政区・中学校・スポーツ少年団対抗リレーなどで大いに盛り上がりしました。

朝から快晴となったこの日、家族や地域の仲間との交流を楽しむ人の姿が^{さんさん}と輝いていました。

11/3 祝



第20回青少年のための科学の祭典 & ECOフェスタ古河2017

@古河はなもも体育館

見て、聞いて、体感して、楽しく学ぶ！

市内学校や企業など53団体のブースには、展示に見入ったり、工作などの体験に夢中になったりする親子の姿が多くありました。

また、「ECOフェスタ古河2017」が同時開催され、暮らしに役立つ情報を通して、多くの方が身近な環境問題に関心を深めていました。

11/11 土



10/15 日



11/12 日

古河市民文化祭(三和地区)

@三和健康ふれあいスポーツセンター他

市民による市民のための文化祭

絵画・書・写真・文芸・園芸など市内団体の力作が数多く展示された他、ダンスや楽器演奏など日ごろの活動の成果を披露しました。

11月5日には「実技講習会(篆刻)」や茶会が開催され、篆刻体験をしたり、抹茶や煎茶を味わったりと、来場者たちは芸術文化を堪能していました。



第18回 古河よかんべまつり @古河公方公園

約8万人の来場者が爽やかな秋晴れを満喫

ダンスなどのステージイベントの他、本棚制作や絵手紙作成などの体験コーナーにはたくさんの親子が参加し、大いに盛り上がりました。また、初開催の子どもだけで行う「キッズフリーマーケット」では物を大切にする心だけでなく、お金を大切にする心も学ぶことができました。

11/4・5

(土)

(日)



Koga障がい者フォーラム2017 @とねミドリ館

共に生きるまちをめざして

元マラソン選手で熊本県議会議員として活躍している松野明美さんが「人生は一番じゃなくていい～生まれてきてくれてありがとう～」を題材に講演し、自身の体験に基づく感動的な話に多くの人が熱心に聞き入っていました。

スペシャルステージとして、8団体による見応えのある発表が行われ、練習の成果が披露されました。そのほか、卓球バレーや点字体験など、参加者全員が一体となって楽しんだ一日でした。

11/3

(祝)



第12回 古河菊まつり @ネーブルパーク

色鮮やかな菊が来園者をお出迎え

盆養や懸崖、五重塔など古河市菊花会員や市内保育園児などが丹精込めて育てた約1,800鉢が展示されました。会場近くのハウス2棟で育てた菊なども会場を色鮮やかに彩り、たくさんの来園者の目を魅了していました。

10/27

(金)

11/23

(祝)



市長と語ろうまちづくり

今年度からスタートした「市長と語ろうまちづくり」。古河市が抱える課題について、市民の皆さんと市長が率直に意見交換を行い、市民参加のまちづくりを進めていきます。

【問】企画課(総和庁舎) ☎92-3111



少子高齢化の進展やインフラ・公共施設の老朽化などの課題に対応するため、3つの戦略的な施策を推進していきます。

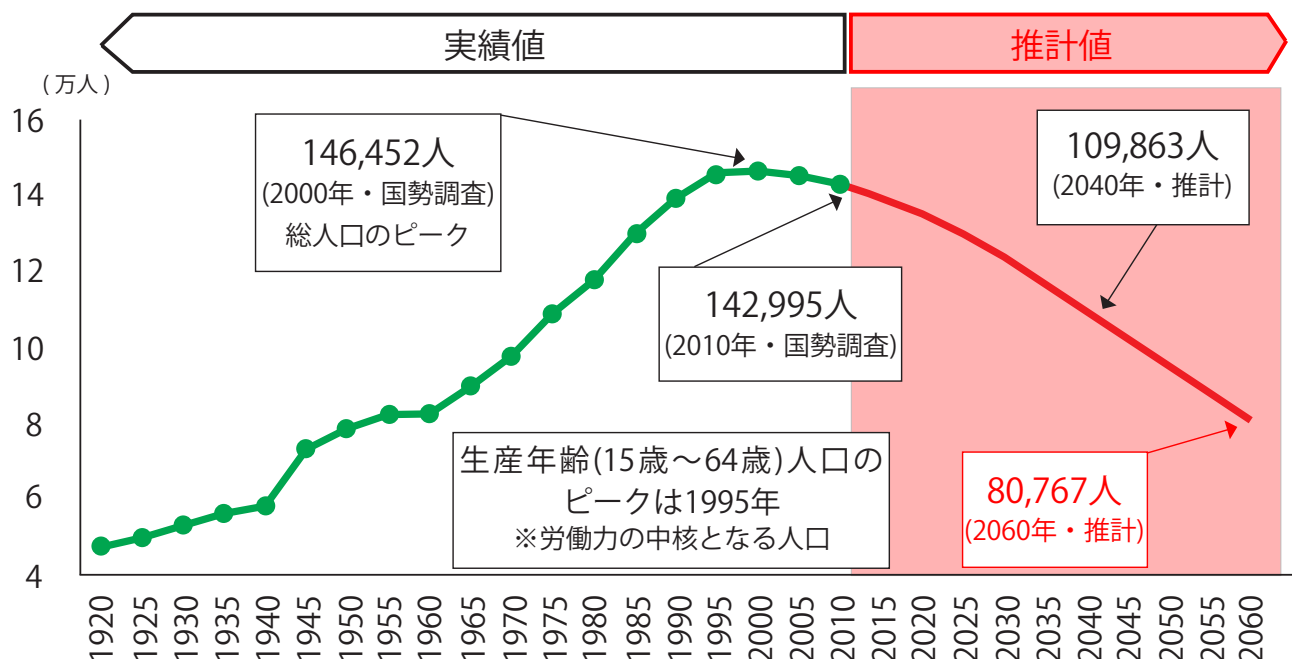
【古河市が抱える課題】

- ・人口減少社会が進む中で、都市や地域経済の活力をどのように維持していくのか。
- ・公共施設の更新時期が近づいている中でのマネジメントをどうするのか。

【人口減少時代に突入】

古河市の人口は、2000(平成12)年の146,452人をピークに減少傾向に転じています。

このまま有効な対策を打たないと、2040(平成52)年には109,863人、2060(平成72)年には80,767人まで減少すると言われています。[国立社会保障・人口問題研究所の推計]



【人口減少の影響は？】

①市税の減少

②行政サービス水準の維持困難

③住民負担の増加

④地域経済の活力低下

⑤地域コミュニティ機能の低下

⑥伝統文化の継承困難



人口減少に対応するための「戦略的な取組(施策)」が不可欠

【3つの戦略的な取組(施策)】

(1)安定した雇用の創出

「元気を生み出す産業の振興」を通じて働く場や雇用を創出・拡大

- 関連企業等の誘致と雇用の創出
- 市街地の活性化
- 古河ブランドの発掘とプロモーション強化
- 体験・参加型ツーリズムの推進

(2)若い世代の定住促進

「子育て支援と豊かな教育の実現」を通じて若い世代の移住や定住を促進

- 切れ目ない子育て支援
- 小児科・産婦人科医療体制の充実
- 子育ての経済的支援
- 特色ある学校教育(英語教育等)
- 個に応じた教育推進
- 「古河っ子」の育成

(3)都市の安心安全

「災害に強いまちづくり」を通じてまちの安心安全を向上

- 防災啓発(タイムライン等の周知)
- 水防計画の策定
- 自主防災組織の育成
- 密集市街地(駅西地区)への消防施設の設置
- 生活道路等の整備(消火活動の円滑化)

さらに、都市のエンターテインメント性の向上を含め、古河市の魅力そのものをグレードアップさせていく取り組みを推進していきます。

参加者との
意見交換(抜粋)

Q.1

人口減少・少子高齢化は確実に進行していくと思う。そのつもりで行政運営をお願いしたい。

A.1

皆さんに人口減少・少子高齢化のイメージを持っていただくことが今回の趣旨でもあります。今は技術革新もあり、人口減少しても充実したサービスを得られる可能性が高い。悲観するばかりではなく、視点を変える必要があると思っています。

Q.2

水防計画について教えてもらいたい。

A.2

防災において一番大切なのは、正確な情報のもと、いかに早く、どれだけ多くの住民を避難させられるかだと思っています。そのために防災計画とタイムライン※を作成しました。

※タイムラインとは、災害発生時に「いつ」、「誰が」、「何をするか」に着目して、時系列に整理した計画をいいます。

～新たに栃木県小山市が加入～ 関東どまんなかサミット会議

古河市、埼玉県加須市、栃木県栃木市、栃木県野木町、群馬県板倉町で構成する「関東どまんなかサミット会議」に10月16日、栃木県小山市が加入しました。災害時の相互応援協定書や公共施設の相互利用に関する協定書を新たに取り交わしました。

渡良瀬遊水地を中心とした、関東4県の県境に位置する隣接自治体が相互に協力・連携することで、魅力ある圏域の形成を目指します。

【問】企画課(総和庁舎) ☎92-3111

【設立の経過】

古河藩の領地であった地域が、幕藩体制の崩壊と廃藩置県の実施に伴い分割。渡良瀬川の河川改修に際して再度分割された歴史のある古河市、総和町、北川辺町、野木町が三国サミット会議を昭和63年に結成しました。

平成27年1月、群馬県板倉町が加入したことをきっかけに4県にまたがる広域連携として「関東どまんなかサミット会議」に改称しました。



関東どまんなかサミット会議の前身である三国サミット会議には、歴史的な背景があったんだね。

H27の群馬県板倉町加入、H28の栃木県栃木市の加入、今回の小山市の加入で4県6市町にまたがり、全国でも珍しい広域連携になるのですね。



6市町で177もの施設が市民と同じ条件で利用できるのはすごいですね。

運動施設だけでなく、図書館なども相互利用の対象になっているのですね。



【主な取り組み内容】

災害時の相互応援協定

いずれかの市町に災害が発生した場合、被災市町の要請に応え、飲食料品や生活必需品の供給、避難所の利用や応急復旧に必要な職員の派遣などの応援体制が敷かれます。

公共施設の相互利用協定

それぞれの市町にある公共施設を、施設所在地の住民と同じ料金や条件で利用することができます。

【新たに含まれる予定の施設(平成30年4月～)】

- ・小山運動公園
- ・小山市まちなか交流センター「おやま～る」
- ・小山市立中央図書館
- ・小山市立博物館 など

イベント情報の提供

各市町の広報紙に、構成自治体の観光イベントなどの情報を掲載しています。



▲左から栗原板倉町長、真瀬野木町長、針谷古河市長、鈴木栃木市長、大久保小山市長、角田加須副市長



平成20年3月から映画やドラマなどの撮影を支援してきた古河フィルムコミッション事業。今までに市内の施設などで170本以上の撮影が行われました。

今後、古河市が舞台のドラマや映画が行われるよう、これからもフィルムコミッション事業を推進していきます。

【問】観光物産課(古河庁舎) ☎22-5111



フィルムコミッションとは？

映画やテレビ番組などの製作者に撮影に適した施設等を紹介し、実際の撮影をスムーズに進めるための支援を行う窓口です。

このほか、ロケ弁や宿泊施設の紹介なども行っています。



主な撮影実績！

撮影年月	作品名	ロケ地
H29.9～10	日曜劇場「陸王」	中央運動公園他
H29.8	仮面ライダービルド	市内工業団地
H29.7	日曜もアメトーク	中央運動公園他
H29.5	ロンドンハーツ	中央運動公園 温水プール
H28.8	映画「ナラタージュ」	古河福祉の森会館他

話題の「陸王」のロケ地に！



現在放送中の日曜劇場「陸王」のロケ地として中央運動公園陸上競技場や市内スポーツ用品店が利用されました。

人気お笑い芸人が温水プールに集合！



人気バラエティー「ロンドンハーツ」の『ロンハー水泳2017』が中央運動公園温水プールで撮影されました。



なぜ古河市が選ばれる？

映画などの製作会社が多い東京都からアクセスが良いこと、豊かな自然環境や撮影に適した施設が多いことがあげられます。きめ細かな支援とこれまでの実績もロケ地として選ばれる理由のひとつかもしれません。



ロケ地登録募集中！

古い建物、広い田園、工場や空き地など、どんなところでもロケ地になる可能性があります！ 自宅や店舗・病院・倉庫・使用していない建物など、ロケ地登録をお待ちしています。

まずは観光物産課までご連絡ください。ロケ弁の提供が可能な事業者も募集中です！

古河福祉の森会館が病院に！



10月7日より公開された映画「ナラタージュ」。古河福祉の森会館や市内病院が利用されました。

仮面ライダーシリーズのロケ地に！



市内でこれまで何度もロケを行っています。今回は工業団地内に検問所を設けての撮影で、普段と違う雰囲気になりました。

12月は地球温暖化防止月間です

家庭におけるエネルギー消費量は、ライフスタイルの変化や家電製品の普及に伴い、年々増加し続けています。特に、冬期は暖房機器の使用や年末にかけて自動車交通量の増加等に伴い石油、ガス等の化石燃料を使用する機会が増加します。このため、温暖化の主な原因となる二酸化炭素や大気汚染の主な原因となる窒素酸化物などが他の季節より多く排出されています。

今回は、冬の省エネ・節電の取り組みとして「ウォームビズ」と「エコドライブ」を紹介します。この機会に、環境にもお財布にもやさしい省エネ・節電を実践してみましょう。

【問】環境課(三和庁舎) ☎76-1511

◆ウォームビズ◆

過度な暖房使用を控え適切な使用を推奨し、快適に過ごすために工夫することです。

衣類の工夫

- ・暖かい素材を選ぶ
- ・首、手首、足首を温める
- ・ひざ掛けや、ストールを活用する



飲食の工夫

- ・身体が温まる食材を選ぶ
- ・身体が温まる飲み物を選ぶ
- ・朝ごはんを食べる

根菜や香辛料など



家での工夫

- ・湿度を意識し、体感温度を上げる
- ・窓やドアから暖かい空気が逃げないようにする
- ・扇風機などを使い空気を循環させる

湿度は
50～60%が理想

◆エコドライブ◆

環境にやさしい運転をすることで二酸化炭素の排出を抑えることができます。

- ・ふんわりアクセルで発進
- ・車間距離を適正にし、加速・減速の少ない運転
- ・早めにアクセルオフ、エンジnbrakeも適宜利用
- ・アイドリングストップ
- ・タイヤの空気圧などの点検、整備
- ・不要な荷物は積まない



誰でも今すぐできる！

心掛けひとつですぐに実践できます。エネルギー使用量を削減することで、二酸化炭素の削減だけでなく、電気代・燃料代の節約にもなりますので、皆さんもやってみませんか。

知っていますか？ 身近にある人権課題



▲県人権啓発キャラクター「こころちゃん」

人権とは、「人間が人間らしく生き」「幸せな生活を送る」権利です。潜在的な偏見や差別により、無意識に他の人の人権を侵害しているかもしれません。

12月10日は国際連合の総会で世界人権宣言が採択されたことを記念し、「人権デー」と定められました。国では、毎年12月4日～10日を「人権週間」と定め、啓発活動を強化しています。この機会に、人権についてもう一度考えてみましょう。

【問】生涯学習課(古河庁舎) ☎22-5111

【子どもの人権を守ろう】

いじめや体罰、児童虐待、児童買春などの人権問題が発生しています。

子どもが一人の人間として最大限に尊重されるよう、この問題についての関心と理解を深めていくことが重要です。

【市での取り組み】

市では、全ての市民が互いの人権を尊重し合い、共に生きる社会を実現するために「古河市人権教育推進計画」を策定した他、講演会や研修会などを開催しています。

【人権教育トピックス】

8月2日、「古河市人権教育講演会」が開催されました。講師は全盲の弁護士の大胡田誠さん。大胡田さんは、12歳の時に失明。平成18年、5回目のチャレンジで司法試験に合格しました。

現在は、二人の子をもつお父さんでもあります。「全盲夫婦の子育ては、子どもにとっては特殊な家庭環境かもしれないが、二人だからこそ見せてやれるものもあると信じている。人生を左右する試験に直面した時、『だから無理だ』と逃げるより、『じゃあどうするか』と考えるほうが、人生はがぜん面白くなる」という言葉が印象的でした。

平沢保治さんが古河第一中学校で講演



10月11日、古河第一中学校で人権教育講演会が行われました。

講師の平沢保治さんは、14歳の時にハンセン病と診断され、国立療養所多磨全生園に

入園しました。

現在は、治る病気であるハンセン病の正しい知識と人権の大切さを全国各地で講演しています。

人権は、「自分のことを大切に思うこと、相手の気持ちを考えること」だと述べ、「夢と希望を持ってほしい」「ありがとうと言える人になってほしい」「命を粗末にしない人になってほしい」と熱心に語りかけました。

生徒代表からは「ハンセン病や人権について大変勉強になった。これからの生活に反映させていきたい」と感謝の言葉が述べられました。

障がいのある人の 日常生活を応援します

市では、障がいのある人が、住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、さまざまな生活支援を行っています。医療費助成や各種サービス、各種手当の受給や利用を希望する人は、事前に相談ください。

【問】 障がい福祉課(総和福祉センター「健康の駅」)

TEL 92-4919 FAX 92-5544



医療費の一部を助成します (自立支援医療費制度)

○精神通院医療費

対象 精神障がいのある人

内容 通院治療費の一部

○更生医療費

対象 身体障害者手帳を持っている18歳以上で、手術等により確実な治療効果が期待できる人

内容 手術費・通院治療費の一部

○育成医療費

対象 18歳未満で、そのまま放置すると将来身体に障がいが残ると認められる人

内容 手術費・通院治療費の一部

※申請窓口は障がい福祉課のみ。

申請窓口

- ・ 障がい福祉課(総和福祉センター「健康の駅」)
- ・ 総和庁舎市民総合窓口課
- ・ 古河庁舎市民総合窓口室
- ・ 三和庁舎市民総合窓口室

主な障がい福祉サービス

○補装具の製作費・修理費の助成

対象 身体障害者手帳所持者、難病患者等

内容 盲人用安全杖、義肢、車椅子、補聴器など

費用 原則1割負担
(所得により負担上限額あり)

○日常生活用具の購入費の助成

対象 身体障害者手帳所持者、療育手帳所持者、難病患者等

内容 入浴補助用具、拡大読書器、特殊寝台、情報受信装置、ストマ用装具など

費用 原則1割負担
(所得により負担上限額あり)

○手話通訳者等の派遣

対象 聴覚障害や音声言語機能に障がいのある人

内容 病院や学校、各種相談に行くときに、手話通訳者や要約筆記者を派遣

費用 無料

○その他のサービス等

- ・ 重度障害者(児)住宅リフォーム助成制度
- ・ 自動車運転免許取得および自動車改造費用の補助
- ・ 通院等タクシー利用料金の助成
- ・ 有料道路通行料金割引
- ・ NHK放送受信料の減免
- ・ 身障者等用駐車場利用証の交付

各種手当を支給します

○特別障害者手当

対象 最重度の障がいがあるため、日常生活において常時特別な介護を必要とする在宅の20歳以上(世帯の所得制限あり)
支給額(月額) 2万6,810円

○障害児福祉手当

対象 重度の障がいがあるため、日常生活において常時介護を必要とする在宅の20歳未満(世帯の所得制限あり)
支給額(月額) 1万4,580円

○特別児童扶養手当

対象 身体障害者手帳のおおむね1級～3級、または療育手帳④・A・B程度の障がいのある児童(20歳未満)を養育している人(世帯の所得制限あり)
支給額(月額) 1級：5万1,450円
 2級：3万4,270円

○在宅心身障害児福祉手当

対象 身体障害者手帳のおおむね1～3級、または療育手帳④・A・B程度の障がいのある児童(20歳未満)を養育している人
支給額(月額) 3,000円
 ※障害児福祉手当との併給はできません。

相談窓口へ気軽に相談ください

障がいのある人やその家族等を対象に、日常生活上の不安や悩み、福祉サービスの案内など、生活全般について専門知識を持った職員が相談に応じます(無料)。

まずは問い合わせください！



相談支援センター等		所在地	連絡先	利用時間
①	青嵐荘つくし園相談支援事業所	上大野2290-1	TEL23-1161 FAX23-1162	年中無休 午前8時30分～午後5時30分 ※夜間・休日の緊急時は電話対応。
②	あじさい学園相談支援事業所	鴻巣1111	TEL48-0431 FAX48-0433	月曜日～金曜日 午前8時～午後5時
③	まくらがの里どんぐり	上大野1943-11	TEL97-1123 FAX98-0220	月曜日～金曜日 午前9時～午後5時
④	ライフサポートセンターネーブル	下大野736-8	TEL91-0150 FAX91-0152	月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時30分
⑤	地域活動支援センター ^{きらき} 煌 ※精神障がいのある人のみ。	坂東市沓掛 411-1	TEL0297-30-3071 FAX0297-30-3072	月曜日～土曜日 午前9時～午後5時
②③④の休館日：土曜日・日曜日・祝日、12/29～1/3				
⑤の休館日：日曜日・祝日、12/30～1/3				

障がいのある人を虐待から守りましょう

虐待に気付いた人は、市に通報する義務があります。地域ぐるみの早めの対応や支援が、虐待された人や虐待している家族などが抱える問題の解決につながります。

古河市障害者虐待防止センター

TEL0120-063801
(24時間365日対応)

秋の叙勲

瑞宝双光章



秋庭 克之さん
(73歳、大山)
保護司

瑞宝単光章



香取 健二さん
(70歳、東本町)
元内閣府技官

瑞宝双光章



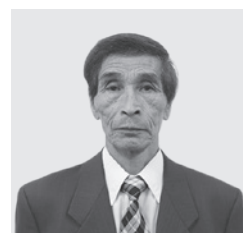
海野 勝さん
(65歳、三和)
元茨城西南地方
広域市町村圏
事務組合消防監

瑞宝単光章



平山 栄一さん
(67歳、下大野)
元准陸尉

瑞宝単光章



峯岸 孝行さん
(67歳、久能)
元准陸尉

高齢者叙勲

旭日単光章



岩井 芳正さん
(88歳、三杉町)
元古河市議会議員

総務大臣表彰

監査事務功労者



赤岩 茂さん
(59歳、諸川)
監査委員

厚生労働大臣表彰

国民健康保険
関係功績者



酒井 健太郎さん
(69歳、諸川)
元古河市国民健康
保険運営協議会委員

国土交通大臣表彰

鉄道関係功労者



榎本 敏行さん
(56歳、雷電町)
東京都交通局
日暮里・舎人営業所
指令区長



鈴木 勇さん
(55歳、大山)
東京地下鉄(株)
軌道工事所長

国土交通大臣顕彰

優秀施工者



高橋 好勤さん
(45歳、諸川)
とび工・(株)高橋芝園土木

全国大会出場

第22回全日本女子ユース(U-15)
サッカー選手権大会

松本麗夢さん、渡辺来美さん
(白岡SCL)

第86回全国高等学校卓球選手権
大会

【男子シングルス・ダブルス・学
校対抗】

小久保晟弘さん
(明秀学園日立高等学校)

第14回全国小学生学年別柔道大会
【6年生男子50kg級】

横山心さん(野木町柔道クラブ)

第39回全日本レディースソフト
テニス決勝大会

白畑薫さん(三和クラブ)

第72回国民体育大会

【卓球少年男子】

小久保晟弘さん
(明秀学園日立高等学校)

【少年男子10mエア・ライフル立
射(60発)】

佐久間将樹さん(古河中等教育学校)

第48回ジュニアオリンピック
カップ陸上競技大会

【男子Cクラス】

鈴木大翔さん(三和東中学校)

注目! まちの話題

越前お市の産業と食彩フェア

10月21日・22日、古河市の姉妹都市である福井県大野市で「越前お市の産業と食彩フェア2017」が開催されました。古河市からは古河ブランドなどの物産品の販売ブースが出店し、地酒やさしま茶の試飲や購入などで多くの人々が訪れました。時折小雨が降り肌寒い天候でしたが、「深みがあっておいしいですよ」「ぜひ一度古河にお越しください」と、地元の人たちとの交流を深めました。

今後も市内外で、古河市の魅力的な物産をPRしていきます。



▲多くの人々が足を止めて買い求めていました

茨城県近代美術館 移動美術館
～旅する近美 古河へ～



▲「何の絵に見える」の質問に「泥沼!」「深海!」など自由な意見が飛び交いました

9月16日～11月5日に古河歴史博物館で開催された茨城県近代美術館移動美術館。

茨城県にゆかりのある洋画など50点の作品のほか、クロード・モネの『ポール＝ドモワの洞窟』が特別展示され、多くの人でにぎわいました。

11月1日には、仁連小学校の3年生38人が来館。茨城県近代美術館の展示解説員の説明に対して「近くから見るのと遠くから見るのでは色が違って見えるね」「油絵っていろんな色を重ねて塗ってるんだね」と真剣なまなざしで聞いていました。

食と感動の、出会いの市場
道の駅マルシェ「みちまる」開催



▲大鍋で煮込んだ新鮮野菜たっぷりの芋煮は、懐かしくて素朴な味わい。どうぞ召し上がれ

11月12日、道の駅「まぐらがの里こが」で「みちまる」が開催されました。市内飲食店30店の自慢の料理販売と、ダンスや和太鼓などのステージイベントが会場を大いに盛り上げました。中でも、直径約2メートルの大鍋で煮込んだ、地元野菜と手作り味噌などを使った約1,000人分の「大鍋芋煮会」は、前日の収穫から調理準備が始まり、約40人の作業により完成しました。多くの野菜提供をいただき、おもてなしの心を込めた芋煮には長い列ができ、大勢の来客は「古河の味」に舌鼓を打っていました。

キラリ！ 輝く人たち

古河桃まつりや古河花火大会などのイベントで来場者をお出迎えしたり、市内外へ古河市のPR活動をしたりする「古河華むすめ」。任期は2年で、毎年2人ずつ交代しながら現在4人で活動しています。

きっかけや活動、やりがいについてインタビューしました。

古河華むすめへのきっかけ

以前から華むすめの活動に興味を持っていた4人。「人前に出ることが好きな長所を生かせる」「身近に活動していた人の話を聞いて、自分もやってみたいと思った」「親戚の人から勧められた」等、それぞれの志望理由で応募しました。

「オーディションに向けて古河市のことを勉強するうちに、より一層古河への愛着を持ち、それを市内外に伝えたいと、華むすめとしての活動に熱意が湧いてきた」と言います。それぞれ約10倍の募集倍率の中、見事選抜されました。

活動を通じて

市内イベントを盛り上げる一員としてのプレッシャーや、やりがいを感じながらさまざまな活動をしています。

神原さんは、茨城放送の生放送で古河菊まつりのPRを担当。声だけでいかに魅力を発信できるか、担当職員にアドバイスをもらったり、何度も練習をしたりと苦労したそうです。本番では、スムーズにPRができ、ラジオパーソナリティとのやり取りも堂々とできたことで、練習の成果が出た喜びを感じ、自信も付いたそうです。

よかんべまつりでインタビュアーを務めた中村さん。緊張の中でも、インタビューした人の答えに対して質問をしたり、話を広げたりと臨機応変に対応できたことにやりがいを

「貴重な経験を糧に」

古河華むすめ



▲左から神原さん、渡辺さん、増田さん、中村さん

感じたと言います。

エピソード

「着物での活動が中心なので、自分で着付けができるようになりました。だんだん上手に着られるようになってうれしい」と話す神原さん。華むすめの活動をするようになってから、所作や立ち居振る舞いを褒められることも多くなったそうです。

安倍首相への表敬訪問や、一日消防署長を務めたりと、普段なかなか体験できない貴重な経験ができる場所にも喜びを感じています。



これからの目標

今年度で卒業する増田さんと渡辺さんは「残り2カ月の活動を精一杯やり遂げたい」「華むすめの経験を生かして将来の夢に向かって頑張りたい。引退しても古河市のためにできることをしていきたい」と話します。

神原さんと中村さんは「華むすめの伝統を守りながら、今よりももっと良くしていきたい」「古河市やイベントを積極的にPRしていきたい」と来年への意気込みを語ってくれました。

現在募集している3人の新メンバーと共に、ますます市の観光を盛り上げてください。

図書館のススメ

【一般書】

○「戦争」と「平和」をあらわす世界の言葉

稲葉茂勝 著

「戦争」と「平和」をあらわす世界の言葉を、戦争と平和をイメージできる写真とともに紹介。言葉の日本語訳や、その国について知っておきたいことなども掲載する。見返しに、「戦争」「平和」をあらわす世界の言葉の一覧あり。

出版社…今人舎

分類…319イ

○乗りかかった船

瀧羽麻子 著

雄平は、機械工学を専攻し、大学院を卒業したのに、北斗造船の営業部に配属され、次は人事部に。戸惑う雄平だが……。「海に出る」はじめ、明日、働く元気がもらえる、全7編の連

作短編集。
出版社…光文社
分類…Fタキ



【児童書】

○こんとんじいちゃんの裏庭

村上しいこ 作

一緒に暮らす認知症のじいちゃんが、交通事故に遭い意識不明となる。しかも車を運転していた人から損害賠償請求をされてしまった。「絶対におかしい！」と憤る少年は、大人の嘘を暴くために自分で調べ始め…。

出版社…小学館

分類…913ム

【絵本】

○あたりかも

きたじまごうき 作・絵

アイスの棒に「あたりかも」って、どういうこと？ あたりなの？ あたりじゃないの？

あたりなのか確かめるために、パパと一緒にアイスの王国へ行ってみることに。冷凍庫の左奥を3回ノックして、出発！

出版社…PHP研究所

分類…Eキ

三和図書館

注目

企業人

～市内の企業を元気に支えるみんなを紹介～ 「ものづくりのエキスパートを目指して」

株式会社積水化成成品関東 中西一浩 さん

勤務12年目でシート製造グループ第2係をまとめる中西さん。3交替24時間連続操業で発泡ポリスチレンシートを製造しています。石油由来の原料に発泡剤を加え樹脂をシート状に形成する工程です。このシートが、食品トレー容器などの材料となり、家庭でも利用されています。シートの製造工程は大半が自動化されているので、コンピューターでの品質管理と検査が主な仕事です。「常に高品質な製品を生産すること、安全意識を持つこと」を心掛けています。

社内では、職場の環境改善や生産性改善を目的とした『改善活動』が行われていて、工夫が必要な製造工程や生産の問題を提起し、改善方法を話し合い、それに基づ

き実行します。結果については、年2回開催される発表会で事例を報告しますが、「上位入賞を狙っている」とのことです。「係が一体となって活動することでコミュニケーションが深まり、改善意欲も高まります」と係全体に配慮する中西さん。『改善活動』を通して、職場環境改善や人材育成を推進し、高品質な製品を提供し続けたい」と力強く話してくれました。

■プロフィール

休日は家族と過ごすのが一番の楽しみです。

35歳・下大野在住。



古河文化見聞録

3通の書状をめぐって

5月のとある日、1本の電話が古河歴史博物館にかかってきました。聞けば、茨城県外の方で、骨董屋さんで古文書を入手したと。これが古河公方足利成氏の書状で、読めないで翻刻(活字にすること)して欲しいとの内容でした。「ほんとに成氏？」などと失礼ながら半信半疑の心持ちではあったのですが、「古河公方」と聞いては捨て置くわけにはいかないのが当館の宿命、何よりも興味津々で、「成氏の新出文書？」などとの妄想が膨らみ、「お役にたたないかもしれませんが」という前提条件のもとにお引き受けし、写真をお送りいただきたい旨をお伝えして受話器を置きました。すると数日後、ご依頼主からB5サイズ程度の封書が手元に届いたのです。ここではご依頼に対してどう調べていったのか、その過程を紹介します。

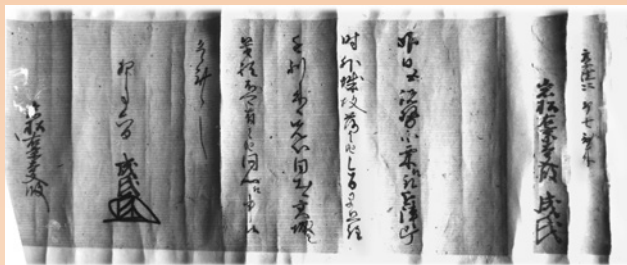
書状を調べる

さて届いた封書の中身はというと、文書の写真が3枚、それから文書を複写したと思しきB4サイズ用の紙を5枚ほど横に貼り連ねたものが入っていました。写真3枚は3通の書状をそれぞれ写したもので、古河公方足利成氏のものが2通、同じく足利晴氏のものが1通で、いずれも岩松右京大夫宛ての書状です。そして貼り連ねたコピーからすると、文書の現況は3通の文書がひとつの卷子に装丁されているらしいことがうかがわれます。案の定、依頼主からの送り状には卷子である旨が記されていました。さらにそのコピーには、成氏書状2通のそれぞれの包紙(書状を包んだ紙)も含まれていました。

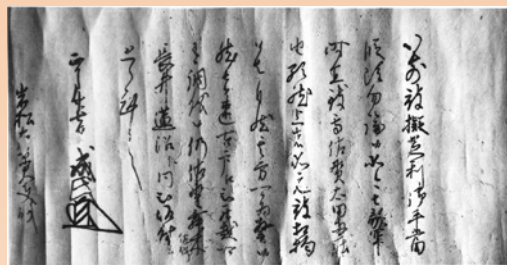
まず注目したのがそれぞれの書状の年月日です。というのも、一般に知られているもの

で、しかも古河公方文書となれば、『古河市史』資料編(以下『市史』)に掲載されているはずで。資料編は大概編年(年代順)になっていますから、年月日さえわかれば、すぐに掲載されているか否かがわかります。はたしてこの3通の書状はどうかというと、なんと我が『市史』に掲載されているではありませんか。これでもう翻刻ということでは終わったようなものなのだと思いますが、左にあらず。ここで注意しなければならないのが、当該『市史』は「正本文書」という史料を出典として書かれているということです。すなわち、「正本文書」とは如何なるものか、ということ調べなければなりません。そこで登場するのが『国史大辞典』(吉川弘文館・以下『国史』)。それによれば、この正本文書は、福井市郷土歴史博物館(寄託)と内閣文庫に収蔵されていると。何が言いたいのかといえば、公的施設にあるものは、基本的に市井(骨董屋さんなど)には流出しませんから、この3通の書状と『市史』が使用している正本文書の書状とは別物であるということなのです。すなわち見ている史料がそれぞれ違うのですから、『市史』の翻刻と3通の書状を照合する必要があります。すると②の書状には、いくつかの文字の違いがありました。さらに『国史』には、享保16(1731)年に宇都宮藩浪人正木新五左衛門の娘がこの文書を徳川吉宗に献上したところから「正本文書」の名があるとして

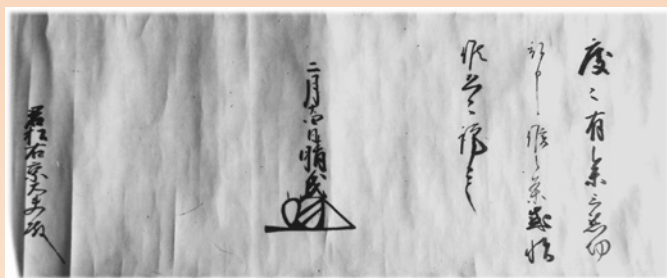
「今日この原本は一部を除いて所在不明で、伝本は献上の前後に作成された写本がほとんどである。新田洋子所蔵(福井市郷土歴史博物館寄託)の『正本文書』は卷子三巻の検注帳類二十八点の原本と二百二十八点の写本から成る。」



▲①足利成氏書状(4月6日付)



▲②足利成氏書状(正月27日付)



▲③足利晴氏感状

と解説されています。ほとんどが写本で、原本(正文)は一部を除いて所在不明なのだと。では現存するその一部の原本はというと、『群馬県史資料編5』によれば、上述の卷子3巻の検注帳類28点と書状類4通だと。そして、吉宗への献上後の原本は、元文3(1738)年までには10巻有余の卷子に表装され、将軍家の文庫に保管されたとしています。すなわち原本は卷子になっている？ 何とも示唆的ではありませんか。この書状も卷子に仕立てられています。ただ、200点超にも及ぶ原本すべてを10巻に表装するとなると、単純に1巻あたり20点くらい収載されていなければならない計算になります。そもそもすべてが卷子に仕立てられたのか否か？ という問題もあるのですが、結論的にいえば、当該卷子は将軍家によって表装された卷子そのものではないと思います。が、売買目的、つまり切り売りするために改装された(その時期は不明)卷子である可能性はあります。もしそうならば、この書状3通は原本ということになるのですが、まあ、想像に想像を重ねるのはこれくらいにしておきます。

書状の内容

では最後に書状の内容に少しだけふれておきます。①は(享徳4年)4月6日付けの成氏書状です。昨日5日に小栗(現筑西市)に進軍し、すぐに敵方の外城を攻落した旨の報告を本日朝方に受けたので、実城(本城)も簡単に攻略できるだろうと味方に話している、というものです。5日の出来事を6日に知り、その日のうちに味方に書状を認めています。そしてその書状の包紙への書き込み「享徳四卯七到

来」によれば、宛先には7日に届いています。宛先は岩松右京大夫(持国)で金山城主、金山城は現在の群馬県太田市に所在したので、成氏の拠点古河城から金山城まで1日で届いたことが判るのです。直線距離でおよそ30キロくらいでしょうか。また、書状には月日しか記されていませんが、これにより発給年次も判明します。書状到着の記録をしたのが持国なのか、はたまたその家臣なのかは判りませんが、こんな几帳面な人物には感謝です。

こうしたちょっとした記録が当時の様子を垣間見せてくれます。②は(享徳5年)正月27日付けの成氏書状です。足利への出陣はもともとですが、佐貫荘(群馬県南東部)や太田荘(埼玉県北東部)に敵が進軍してきたときの対処もあなたの役割ですから、速やかに古戸(現太田市)に赴いて軍勢を調べてください。このことは佐野・舞木・長井・蓮沼氏にも伝えてあります、という内容です。つまり成氏から持国への出陣要請といったところでしょうか。なお、これにも包紙がついていて、到来年次が書かれていますが、この書状のものではありません。①と②は享徳の大乱(享徳3年～文明14年)の時期で、古河公方対関東管領上杉氏の争いです。従って書状に見える「敵」は上杉勢ということになります。③は足利晴氏から持国に与えられた感謝状です。2月14日付けですが、発給年次は不明です。

当館にはさまざまなお問い合わせが、市民のみならず市外の方々からも数多く寄せられます。こうしたことに対応することもまた、博物館の重要な役割のひとつです。

古河歴史博物館学芸員 臼井公宏

※次号(平成30年1月号)は休載します



スマートフォンやテレビとの上手な付き合い方

1歳6か月・3歳児健康診査などでは、保護者から「テレビを見るのをやめさせようとすると嫌がるので困っている」「テレビやスマートフォンを見せると静かになるのでつい見せてしまう」という声を聞きます。大人にとってスマートフォン(以下スマホ)やタブレット、テレビが身近なものであればあるほど、子どもから遠ざけるのは難しいことです。子どもは大人が使っているものに興味を持つので、使用するタイミングを選ぶことや、時間の制限をきちんと設けることが重要です。

こんな場面はありませんか？

- ・食事をしているときのテレビ鑑賞が習慣になっている
- ・子どもからスマホやタブレットを取り上げようとする、駄々をこねるので困っている
- ・大人がスマホに気をとられて、「あ、危ない！」と思ったことがある



何が問題なのでしょう

子どもは、人や自然・ものとの触れ合いの中で、表現力や想像力、言葉の発達などさまざまな能力を養います。特に、乳幼児期は言葉が増えたり動きが活発になったりと、心と体がぐんと成長する時期です。そのため、意味のある言葉を話さない時期でも、周りの人とのコミュニケーションは大切です。周りの人に気持ちを伝えて、気持ちを分かってもらえたという経験は、「伝えたい」という思いを育て、コミュニケーションの輪を広げます。スマホやテレビなどの情報機器は一方向の情報です。これらと接する時間が長くなることで、体を使って遊ぶ機会や、周りの人とやりとりする機会が減ってしまうことが心配されています。

また、人間の目は生まれたときからはっきり見えるわけではなく、遠くのものや動くものなどいろいろなものを見ることが、ピントを合わせる機能や動くものを追う機能が発達します。特に、3歳頃までは視力が急激に発達する大切な時期です。スマホやテレビなどの機器は、目と画面の距離が近く、狭い画面の中をじっと見つめるため、視力の発達に影響を及ぼすといわれています。

スマホやタブレットテレビを使用する際のポイント

- ・1日2時間以内を目安にしましょう。特に、2歳までのテレビやビデオの視聴は控えましょう(日本小児科医会の提言より)
- ・「1日〇回まで」「おやつ前の〇分間だけ」というように、見せる回数やタイミングを決めましょう
- ・夜の使用は避けましょう。画面から発せられるブルーライトの影響により睡眠の質に影響します
- ・保護者も一緒に見て、話し掛けながらコミュニケーションのきっかけにすると良いでしょう。画面の中のキャラクターのしぐさをまねるなどして興味を引き、画面の外の世界に引っ張りだしてみましよう

子どもは、大人が想像しないような行動をとることがあります。お家の中であっても、大人がスマホに集中していると、思わぬ事故につながる場合がありますので注意が必要です。

この機会に、スマホやタブレット等の情報機器との上手な付き合い方について考えてみませんか？

健康づくり課

憩いのパークの魅力

公園、冬の楽しみ方

つい先日まで、公園を鮮やかに装っていた紅葉もほとんどの葉が落ち、気が付けば冷たい風に落葉が舞っています。

そんな冬の公園は、人気も少なく寂しいと思われがちですが、穏やかな日には、元気に散歩を楽しむ人とともにアスレチックをかけ回る子どもたちの元気な歓声が響いています。

また、週末には近年のアウトドア人気を反映してか、ログハウス風の「キャビン」や「バーベキュー広場」で、冬でもバーベキューを楽しみ、歓談する人々の様子が見られます。

そんなネーブルパークには、もう一つ冬の楽しみ方があります。旅館風の宿泊施設「平成館」です。心安らぐ木造の建物にチェックインしたら、公園散歩ですがすがしい空気を吸って、その後に大浴場で心身共に温まり、夕食に舌鼓を打ちながら家族や旧友と語り合う、こういった楽しみ方で多くの人々に利用さ

れています。

平成館では、今年もこんな楽しみ方をする人たちのために、冬季限定での宿泊パックを2種類用意しました。リピーターはもちろん、初めての人もどうぞ気軽に利用ください。皆さんのお越しをお待ちしています。

①「クリスマス宿泊パック」
12月1日(金)～25日(月)、大人1泊2食付き5,900円(夕食は特別メニュー)。

ご家族でいかがでしょうか。



②宿泊パック「つどい」
1月24日(水)～2月28日(水)、大人1泊2食付き5,900円(夕食は特別メニュー)。

新年会や同窓会などにご利用いただけます。



※子ども料金など詳細は、問い合わせください。



【問】ネーブルパーク「平成館」 ☎91-2080



表紙写真



11月3日に行われた第44回古河市総和地区市民運動会。各行政区が色とりどりのユニホームを着て、リレーや「大玉ころがし」を頑張っていました。「行政区対抗つなひき」は40人の男女が力を合わせて行う団体プレー。地域のみんなの団結力が発揮されました。

「イチッ、ニッ、イチッ、ニッ」と号令をかけるリーダーの笑顔がキラリと光っていました。

お詫びと訂正

広報古河11月号13ページ「注目！ まちの話題」で、みのりキャンプの開催された場所に誤りがありました。下記のとおり訂正しお詫びいたします。

〔誤〕：秋葉農園



〔正〕：秋庭農園

古河市データ

人口

(11月1日現在) 住民基本台帳から
総人口 144,518人 (+77)
男 72,955人 (+39)
女 71,563人 (+38)
世帯数 60,747世帯(+148)
() 内は前月比



▲平成館大浴場

好奇心旺盛な望愛。毎日色々な事に興味津々！望愛が生まれてから何気ない事にも発見があって教わる事もいっぱい。これからも一緒に成長していこうね。生まれてきてくれてありがとう♥（父：幸博 母：彩香）

Kegastagram



 古河市 citykoga-official



古河市の公式Instagramに掲載された写真から、ベストショットを毎月1枚選出し掲載します。「＃こが暮らし」「＃こが育ち」のハッシュタグを付けて、ぜひ投稿してください。



抱っこ大好き子どもたち。元気がない時や緊張してドキドキしている時だけでなく、どんな時も抱っこをしてもらうことが大好き。ぎゅっと抱きしめてもらうと、お顔がほっと♡こころもほっと♡和らいでいきます。

朝のはじまり。登園してきてちよっぴり心細そうなお友達も。保育士のおひざに座ってスキンシップをとっているうちにほっと落ち着き、「せんせい、あのね♪」「ぼくね、○○たべてきたんだよ♪」と弾んだ声でお話が始まります。

手をつないだり、おんぶや添い寝、絵本の読み聞かせなど、『子どもと触れ合う』時間は、心と心がつながる時間。「大好きだよ」「いつも見てるよ」「大丈夫だよ」とママやパパ、お家の人からのメッセージを体いっぱいにもらうと、子どもたちの心は栄養満タン♡

目がキラキラして胸がワクワク♪「楽しいな」「嬉しいな」「何して遊ぼう」……。自ら『遊ぶ力』『育とうとする力』が湧き出てくることでしよう。

と、子どもは心が満たされ、自然と自分のことが大好きになります。すると、お友達のことでも大好きになり、そしてお隣の人困っている時にそつと優しくできる心の芽が育まれることと思います。

笑顔が生まれる、ふれ合いハッピータイムは心が育まれるひととき。

「心の根っこをしなやかにたくましく」そんな願いを心において、これからも子どもたちと関わっていかれたらと思います。

どうぞご家庭でもお子さんを囲んで幸せなひとときをお過ごしください。

おはな保育園